# 坂出・綾歌支部　活動報告

## １　研究主題

学びを人生や社会に生かそうとする生徒の育成

―主体的・対話的で深い学びを支えるメディア教育の推進―

## ２　研究主題について

学習指導要領の基本理念である「生きる力」を育むという目標のもと、基礎的・基本的な知識・技能に加えて、学ぶ意欲や思考力・判断力・表現力等を育むためには、学び合い活動を取り入れるなどの授業改善を図り、学びの質を高めていくことが不可欠である。特に、多様な情報の中から必要な情報を適切に選択し、それらをもとに自分の考えを主体的に表現・発信する力を育てることが学校教育に求められている。そのためにメディア教育の担う役割は重大であり、加速化している高度情報社会において、ますます大きくなっている。

そこで、本部会では、ＩＣＴ機器を学習活動の中で使うことだけを焦点化するのではなく、どんな活動や場面でＩＣＴ機器を組み込めば話し合い活動での効果的な成果が期待できるのかを検討し、生徒の深い学びにつなげるための実践研究や研修を行った。

## ３　研究計画

(1)　４月１７日

場所：綾川町立綾南中学校

内容：研究組織及び主題の決定、研究の進め方についての共通理解

(2)　６月１３日

場所：宇多津町立宇多津中学校

内容：研究授業Ⅰ（理科）、研究討議、各中学校での実践事例についての情報交換

(3)　１１月１日

場所：坂出市立坂出中学校

内容：研究授業Ⅱ（社会）、研究討議、各中学校での実践事例についての情報交換

## ４　研究内容

(1)研究授業Ⅰ（６月１３日）

①　第３学年　理科

題　材　酸とアルカリの混合

授業者　溝渕　友哉

②　本時の目標

(ｱ) 指示薬の色の変化を、イオンの観点から説明することができる。

(ｲ) 指示薬やドライアイスの扱い方に注意し、色の変化に着目しながら実験・観察できる。

③　学習指導過程

(ｱ) 導入

身近な植物を使った指示薬の映像を見せて興味をもたせ、万能指示薬にドライアイスを加えた前後の色の違いを動画で見せる。

(ｲ) 展開

・実験の方法を確認し、実験をもとに万能指示薬がどのように変化したのか考えさせる。

・万能指示薬の色を変化させたものは何かを班で考察させ､全体で考えを共有させる。

(ｳ) まとめ

色の変化には､イオンの存在が関係しているということにふれながら本時のまとめを行わせる。

④　討議内容

今回のＩＣＴ機器の活用は、複数の画像を比較して共通部分を見つける場面と実験方法や作業手順を視聴させることで効率的に活動できる手助けとなる場面での実践であった。映像を使用することで、変化した瞬間の様子や注意深く観察させたいポイントを明確にして、提示することができた。

(2) 研究授業Ⅱ（１１月１日）

①　第３学年　社会科

題　材　裁判員制度と司法制度改革

授業者　宮武　朋広

②　本時の目標

(ｱ) 裁判員制度の概略について理解できる。

(ｲ) 国民の司法参加の意義に気付くことができる。

③　学習指導過程

(ｱ) 導入

裁判員制度の説明を映像で確認し、重要語句を流れに沿って理解させる。

(ｲ) 展開

裁判員制度が必要か不要なのかを個人で考えた後、班で意見を出し合う。必要と不必要の両方の考えを出させ、班の代表者に発表させ、全体で共有させる。

(ｳ) まとめ

裁判員として参加した人の考えをインタビューの映像を通して知り、必要性をまとめさせる。

④　討議内容

映像やスライドを効果的に活用し、生徒へ提示していた。板書として視覚的に残しておくべきものと更新されて消えていくものを上手く使い分けて授業を行った。映像で経験者の話を見せることで、リアルな声を聞き、生徒の交流活動の支援としていた。

## ５　今後の課題

機器の操作に習熟していないと授業でＩＣＴ機器を活用への負担感が大きく、十分に意図をもって学習に導入できない。

アナログとデジタルの両立を考えて、授業を構成しながら有効な活用環境を確立するためにも、教員の活用研修や教材研究を通して効果的な活用方法を精査し、実践成果を蓄積していく必要がある。